

福島第一原子力発電所現地確認報告書

- 1 確認日
令和2年8月7日（金）
- 2 確認箇所
2号機タービン建屋近傍
- 3 確認項目
2号機タービン建屋雨水排水先等の状況

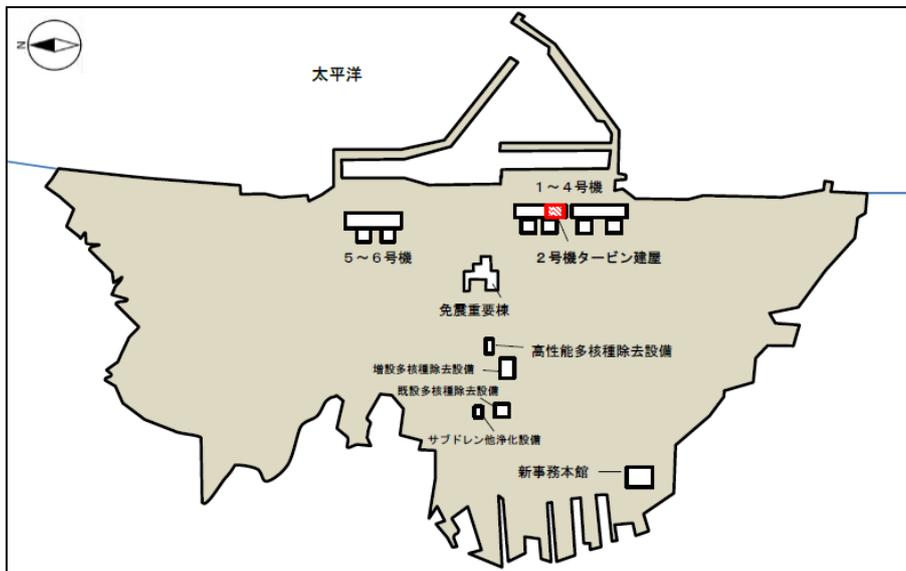
4 確認結果の概要

2号機タービン建屋上屋面の雨水は、浄化材を設置した雨樋を經由して同建屋東側の地表面に排水していたが、豪雨時には同建屋東側のサブドレンの負荷が高くなり、地下水位の上昇に伴い建屋流入量が増加し、汚染水発生量の増加につながっている状況となっている。

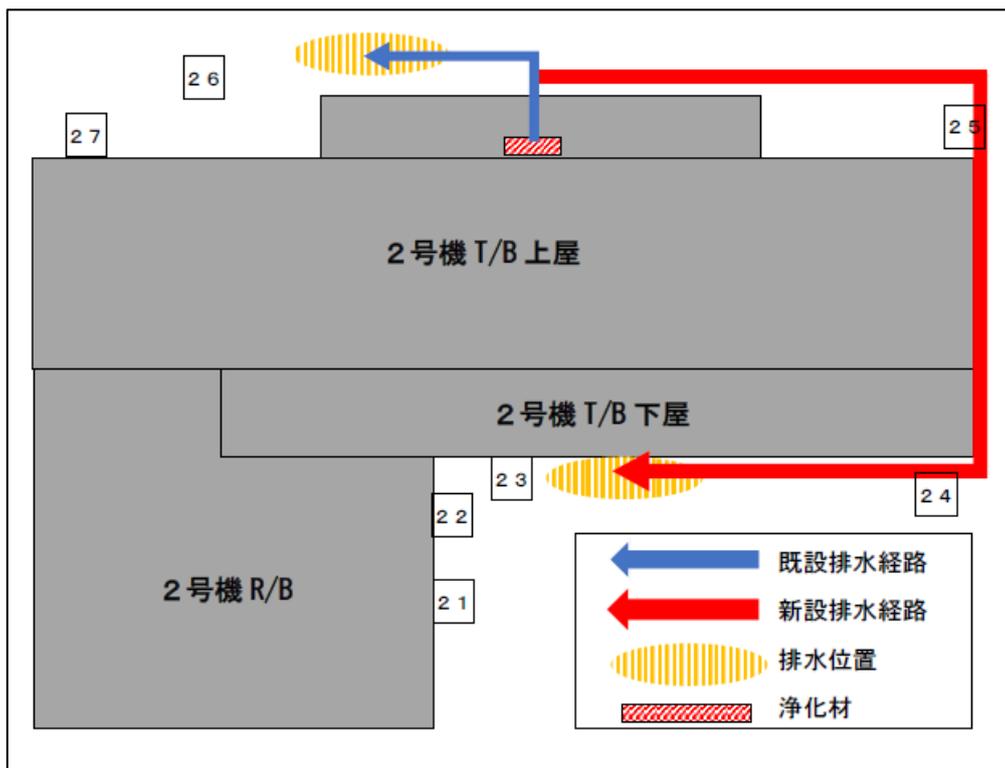
そこで、東京電力は当該サブドレンの負荷を分散し、雨水の建屋流入量を抑制するため、同建屋西側にも雨水の排水ができるように雨樋を設置し、排水経路を増設した。

本日は、既設の雨樋及び排水先並びに新設の雨樋及び排水先の状況を確認した。（図1、図2）

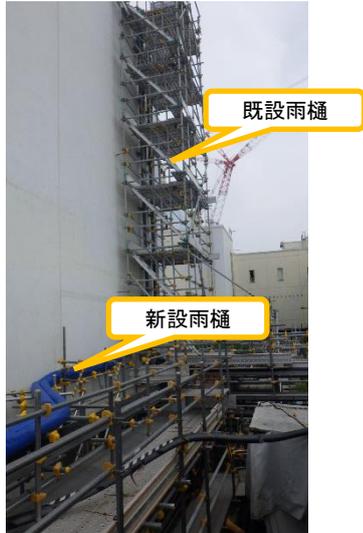
- ・既設の雨樋は建屋壁面に沿って2つ設置されており、途中で新設の雨樋が据え付けられており、バルブの切り替えで排水先を操作できるようになっていた。（写真1）
- ・既設の雨樋は地表面に設置されており、排水箇所では複数の孔を開けた塩ビ管が据え付けられていた。また、排水先は草が生い茂っていた。（写真2）
- ・新設された雨樋は、2号機タービン建屋西側のサブドレンピット No. 23 近傍まで敷設されており、既設と同様に排水箇所では複数の孔を開けた塩ビ管が据え付けられていた。また、排水先は砂利が敷かれていた。（写真3）



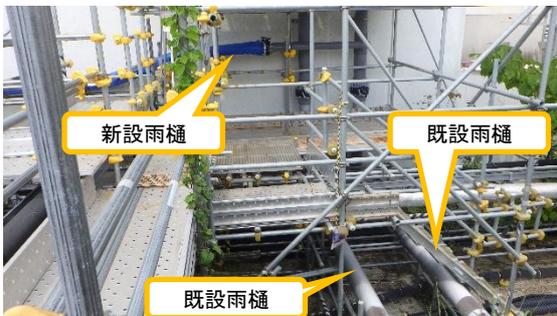
(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



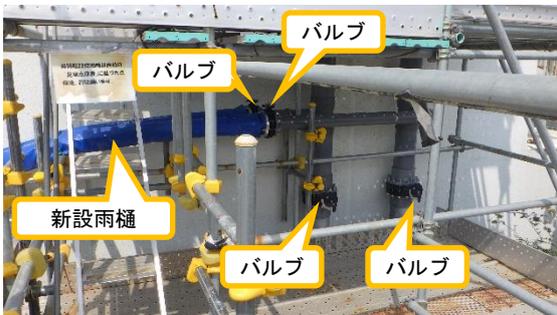
(図2) 雨水排水経路概略図(数字はサブドレンピットの番号を表す)



(写真1-1)
雨樋の敷設状況
南側から撮影



(写真1-2)
雨樋の敷設状況
東側から撮影



(写真1-3)
新設雨樋近傍拡大



(写真2)
既設雨樋の排水先の状況



(写真3-1)
新設雨樋敷設状況（2号機タービン
建屋東側）
北側から撮影



(写真3-2)
新設雨樋敷設状況（2号機タービン
建屋西側）
南側から撮影



(写真3-3)
新設雨樋の排水先の状況

- 5 プラント関連パラメータ等確認
本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。